

飛鳥

古きもの
明日のもの

2019年
秋から
冬へ
No. 9



飛鳥夕景（豊浦）



瑞雪（岡寺）

鶉うずら 鳴く 古ふるりにし里の 秋あき萩を
思おもふ人どち 相あ見みつるかも

鶉が鳴くこの古びた飛鳥の里に咲く秋萩を同じ思いの人と一緒に見ることができました。なんと嬉しいことでしょう。

※沙弥尼等（巻八一―一五五八）
※仏門に入ったばかりの尼僧

平城京に都が移り、飛鳥の里が廢都になって40年。
丹比真人国人が、豊浦宮を訪れた際、宴会の席で詠まれた一首です。
今はもうさびれた飛鳥で接待する尼僧が都会人と意気投合し、一緒に秋萩をみられた「幸せ」を詠っています。
飛鳥に取り残された嘆息ではなく、風流人と萩を愛でながら、一献を傾ける喜びの様子が目に浮かびますね。

※豊浦宮・・・推古女帝の時、聖徳太子が摂政として政治に携わり、10年間皇居があった地です。まさしく、飛鳥時代の始まり。豊浦寺は日本最初の尼寺となったお寺なのです。



石舞台古墳

明日香村での近代的な発掘調査の始まりは、昭和8年に行われた石舞台古墳の調査とされています。京都帝国大学と奈良県による発掘調査でした。調査の陣頭指揮をとったのは、後に奈良県立橿原考古学研究所を立ちあげ、所長にもなられた、末永雅雄先生です。当時の京都帝国大学で、本格的な考古学の研究方法をヨーロッパから日本に導入した浜田耕作先生が、末永先生に今後の考古学のありかたについて、その方向性を尋ねたことがあったそうです。その際、末永先生は浜田先生に「これからは遺物の研究だけをしていてはだめで、遺構の研究も必要ではないでしょうか」といった旨の回答をしたといわれています。これを聞いた浜田先生は、石舞台古墳の発掘調査を決定し、その指揮を末永先生に託したそうです。石舞台古墳の発掘調査には、このような経緯がありました。末永先生の言葉がなかったら、近代的な発掘調査はこの時期に始まっていなかったかもしれせん。

（明日香村文化財課 高橋幸治）

明日香はじめて物語

とくを越えて
明日の明日香へ



明日香村観光マップ

凡例

- 立体交差
- バス停
- 国道
- 県道
- 信号
- 橋
- トイレ
- 多目的トイレ
- ガソリンスタンド
- 案内所
- レンタサイクル
- 展望地
- 急な坂道
- 駐輪場
- 無料駐車場
- 有料駐車場

2月	1月	11月	10月	9月
15~16日 (予定)	2日	23日	10日	21~22日
学	楽	学	学	楽
考古座談会※	おんだ祭り「飛鳥坐神社」	風揚げ大会 (事前申込必要)※	帝塚山大学連携イベント 「古都飛鳥 仏像さんぽ ―やさしい仏像教室―」※	飛鳥学冠位叙任試験※ (事前申込必要)
			万葉ウォーク※	飛鳥周遊クイズラリー※
			古都飛鳥文化祭	彼岸花祭り 飛鳥光の回廊

お問合せ先
●飛鳥観光協会
●マークのイベントのお問合せは
古都飛鳥保存財団まで ☎0744(54)3338

※7月1日現在の情報です。イベントに参加される際は必ず事前にご確認ください。

令和元年(9月~3月)
イベントスケジュール



農産物販売所

「あすか夢販売所」

近鉄飛鳥駅 降りたらそこが！

『道の駅 飛鳥』



「安い・新鮮・安心」と三拍子揃った「あすか夢販売所」がオープンしたのは今から22年前。去年9月には「道の駅」の施設となった。出品登録者数460名以上の生産者とお客様との架け橋として村を盛り上げる大人気の販売所だ。

これからの季節は白菜・大根・ネギ・水菜等の冬野菜が所狭しと並べられ、地元の豆腐とつなげる程旨い飛鳥米で今日のメニューは飽き決定！

又、自らが「農業に携わっている」村内加工グループが作る漬物や菓子・餅等も豊富に揃っていて、見てまわるだけでも楽しい所。

店長の福井智也氏は「これからは『総合案内所 飛鳥の館』をはじめ、駅前にある飲食店とも『道の駅』としての一体感を目指し、今以上に明日香を盛り上げていきたい」と話す。「道の駅」になってからは食べ処を求めて来られる方も多く、年間4回開催されるイベントでは、野菜・果物の詰め放題や抽選会、新米の試食などと併せて飲食のブースも充実させた。

買い物をして、食を楽しんで、棚に並ぶ野菜や果物を通して季節の移り変わりに感じてほしい。

又、野菜の日持ちが全然違うので『品で満足・価格で納得』してもらえ、品も販売所の醍醐味だ。



飛鳥に学び、魅力を発信し、里山の景観を守る



「公園ボランティア 飛鳥里山クラブ」

今から25年前にスタートした「飛鳥里山クラブ」は、国営飛鳥歴史公園を中心とした活動するボランティアグループだ。毎年2月～3月に募集を行い、初年度には

の8つのサークルを通して飛鳥の魅力を発信するイベントリーダーやスタッフとして活動する。現在の会員数は約250名。中には25年間活動している会員が5名も...

「ボランティア養成講座」
飛鳥の里山づくり・歴史の現地研修・野鳥観察・オオムラサキの生育・染色体験・間伐材クラフト・安全管理とボランティア活動の心得等。

年間約20回の講座を受講し、ノウハウを学習する。

2年目以降は実際の活動を通じてより知識を深め、甘樫丘をフィールドにした「植栽」「草刈」「希少植物の保護」をする他に、

「会員同士の結束が強く、熱心な方々のおかげで飛鳥里山の景観が守られています」と事務局の奥村典康氏。

飛鳥の魅力は無造作で人工的に手が入っていない癒しだと思ふ。その景観を地道に守ってくれている人達がかっこいい。

心がときめいた方は是非、一緒に気持ちいい汗を流しませんか。



甘樫丘で植栽するクラブ員



明日香で出会った縁を大切に。一人一人の小さな力が無限大の力になる「楽しいよ〜」

お問合せ
◆634-0144
◆明日香村平田538
飛鳥管理センター内 飛鳥里山クラブ事務局
電話：0744-541244
FAX：0744-5414633



私と飛鳥



私は明日香村の出身で現在74歳になります。思い起こせば昭和45年、私が30歳の頃、「明日香村青年活動」の一環で「史跡研究グループ」を発足し、村内の遺跡の案内道標を立てたり「日本書紀」にみる桃原の墓「石舞台古墳」の外堤に花桃の植樹をしたりレンゲを植えたり活動をしてきました。そして、昭和47年に高松塚古墳が発見され、展示館ができる私には「古都飛鳥保存財団」の職員として勤めさせていただきました。そんな経緯もあり、退職した私が飛鳥の為に何かお役に立てれば...という思いから「飛鳥駅前サポーター」に応募し、今13人のメンバーで駅前や高取川沿いに花を植えたり、草刈りをしたり、夏にはみんなで作ったかかしを駅前立てる活動をしていきます。小雨の中、暑い中...天候はまちまちですが、ユニホームのオレンジのジャンパーを着て、みんなと流す汗は最高です。キレイになった駅前を見て、心も大満足です。

飛鳥駅前は古代飛鳥の都への玄関口。そこに立った時に「やっぱり飛鳥はえ

えなあ」と感じていただける落ち着いた佇まい、そして字の如く、鳥が飛び交う環境づくりをしていきたいと思っています。もし、「参加してみよう」という人があれば声を掛けてください。一緒に楽しみましょう。

飛鳥駅前サポーター 箕園 勝男



飛鳥駅前サポーター 箕園 勝男



イベント報告

飛鳥駅前除草作業

令和元年7月7日(日)、近鉄飛鳥駅前の「道の駅飛鳥」エリア内の除草作業を、明日香村民・飛鳥駅前サポーターの協働で行いました。本来であれば、飛鳥駅を通過で利用する高取国際高等学校の生徒さんにも参加いただく予定でしたが、テスト期間中の一日が休校になってしまい、テスト期間が延びてしまうという不測の事態となり、不参加となってしまいました。

当日は、小雨が降る中、不参加となつてしまった高取国際高校の生徒さんの分まで、約30名のボランティアの皆さんで伸び放題になっていた道の駅飛鳥エリアの草を一生懸命取り除いてもらいました。

約1時間の作業で見違えるように綺麗になり、これから夏休みに入り、お客様が来村されるのにふさわしい場所となりました。

一年に一度の協働作業ですが、皆さんで流す汗は気持ちのいいものでした。来年は高校生も一緒に除草作業ができることを願っています。



みんなで作る飛鳥の花開き



おもしろ



～3Dプリンターやパソコンを駆使してオリジナルグッズを～

一歩足を踏み入ると、そこは不思議なフィギュアワールド。あれもこれも手に取ってしまいたくなる魅力的な作品がお行儀よくディスプレイされている。

代表の西川勝博さんは19年間勤めた会社を退社し、明日香を自転車で廻るうちに遺跡や奇石に魅せられる。のち、村のチャレンジショップ「ASUCOME」を経て、4年前に今の地に店をオープンした。

食べるもの以外の思い出に残るお土産に着眼し、3Dプリンターやパソコンを駆使して作られたリアルな石造物フィギュアをはじめ、オリジナルTシャツやお客様の顔をプリントしたマグカップや仏像まで世界で1つのゆるかわグッズが作れるショップとして今、明日香で大人気だ。

「買うのが目的でなくても是非店に来て『おもしろい所があったよ』と、楽しい思い出を持って帰ってほしいです」と西川さん。

穏やかなお人柄で、おしゃべりしているとなついつい長居してしまう店。



人気の「四神Tシャツ」 2100円



好みの柄がプリントできるマグカップやリアルなフィギュア作成できる。



代表の西川勝博さん 「明日香らしいおみやげ探しに是非。歴史をひもとく時間は楽しい限りです」

- ◆住所：明日香村岡1218
- ◆時間：10:00～18:00
- ◆休み：火曜
- ◆駐車場：あり (café ことだまと同一敷地内)
- ◆その他の販売店 (村内) 道の駅飛鳥・四神の館・明日香の夢市

編集後記

この場をお借りしてお知らせをさせていただきます。

一昨年から9月のイベント「光の回廊」に合わせて高取国際高校・吹奏楽部の皆さんと共に「飛鳥駅前ふれあいコンサート」を開催しています。ジャズあり、流行歌あり、アニメソングありのバラエティに富む演奏と、地元の方たちの「ふるさと」の大合唱...そして家庭クラブから手作りのカップケーキが配られて、観客の方にも大好評です。

声を出して本当によかったですね。沈む夕陽をバックに老若男女が集う光景は実に微笑ましいものです。

今年の開催日は9月22日(日) 夕暮れ4時30分から約1時間の予定です。終わったら後は「光の回廊」へ...。ロマンチックな秋の夜長を明日香と一緒に楽しみませんか？



新子 信子



私たちは 古都飛鳥保存財団の活動を 応援しています

